

公有水面埋立法案特別委員會會議事速記録第二號

大正十年三月二十日(日曜日)午前十時二十八分開會

○委員長(伯爵清棲家教君) 是ヨリ開會イタシマス、前回ニ引續キマシテ御質問ガゴザイマスレバ、此際ニ願ヒマス

○阪本鈺之助君 前回ハ決席ヲ致シマシタ爲ニ或ハ既ニ御質問ノアツタコトカモ知レマセヌガ御許シヲ願ヒマシテ一ツ質問ヲ致シタイ、全体ニ於キマシテハ誠ニ結構ナ法案ト思ヒマスルノデアリマスガ、此法條ニ付テ一ニ伺ヒタイ、第五條ノ二項ニ「漁業權者又ハ入漁權者」ト云フコトガアリマス、是ハ即チ「前條ニ於テ公有水面ニ關シ權利ヲ有スル者」ト稱スル「云々」ト云フ即チ是ガ權利者デアルト云フコトデアリマスガ、兎モ角此水面埋立ナドト云フコトニナルト、漁業者ト云フ者ハ種々ナ苦情ヲ申出デ、企業ヲ妨ゲルト云フ風ガアルノデアリマスガ、漁業權者又ハ入漁權者ト云フ者ハ、ドウ云フ範圍ニ限定サレタノデアリマセウカ、何カ之ニ付テハ確リトモウ是以上ノモノニハ喙ヲ立テサセヌトカ、斯ウ云フモノナラバドウ云フ權利ガアルト云フコトニ付テハ豫メ御決定ガアルノデアリマセウカ、マア一ツ宛伺フコトニ致シマス

○政府委員(小橋一太君) 第五條ノ第二項「漁業權者又ハ入漁權者」ト云フコトハ是ハ漁業ニ基イタ權利ヲ申スノデアリマスガ、サウ云フノガ御尋ネノ趣意デナクシテ、埋立ヲセムトスル場合色々ナ苦情ヲ申込ムデ、折角有利ノ埋立ノ地ニ障害ヲ被ル時ニ其者ノ決定法ハドウスルカト云フ御尋ネノヤウデアリマス、ソレハ實ハ第四條ノ第二項ニアリマスガ、其埋立ニ因リテ生ズル利益ノ程度ガ損害ノ程度ヲ著シク超過スルコト云フノデアリマスガ、是ハ第四條ニ依ッテ地方長官ガ此埋立區域内ニ於ケル權利者、即チ今御尋ニナッタヤウナ法條ニ於ケル漁業權者入漁業者等ガアリマス場合ニ、其漁業權者ト此埋立經營者トノ間ニ話ガ出來マスレ

バ是ハ宜シイノデ、第一項ノ場合デ權利者ノ同意ヲ得タ場合、第二號ハ同意ヲ得ナイ場合ハ知事ガ職權トシテ決定スル道ヲ開イタノデアリマス、ソレデ此埋立區域内ニ於ケル漁業者ガ、苦情ヲ申込メテ承諾ヲ與ヘナイ場合ニ、一面此埋立事業ノ利益ガ非常ニ大デアッテ假令漁業權入漁權等ヲ消滅セシメテモ、埋立ガ國家ノ經濟上利益ト知事ガ認メタ場合ニ、知事ハ其權限ニ依テ其埋立ヲ遂行シテ宜シイ、併ナガラ其區域内ニ於ケル今御尋ネノ入漁權者漁業權者ノ權利ハ是ニ對シテ補償ノ途ヲ開イテ置クト云フコトヲ後ノ條文ニ其場合ヲ詳細規定イタシテ居ルノデアリマス

○阪本鈺之助君 一應了解イタシマシタガ、第四條ノ第一號ノ同意ヲ得ル場合等ニ於テハ、ナカナカ過大ナ要求ヲ致シテ、企業者ハ非常ニ苦シム場合ガアルノデアリマスマイカ、第一號ハ或ハ實行スルコトガ難イカモ知レマセヌ、第二條ニ依リマシテ地方長官ハ相當ノ見定メヲ付ケテ許可スルト云フコトニナルノデアリマスガ、ソレニ付イテ何トカ漁業權者ガ色シナコトヲ申込メ來ルト云フコトハ、申スマデモナク當局ハ御遭遇ニナッテ居ルト思ヒマスガ、是ハ若シ其意ニ反シテ第二號ニ依ッテ知事ガ許可スコトニナリマス場合ニハ、第五條ノ權利者ガ訴願デモ起スコトガ出來ルノデアリマスカ

○政府委員(小橋一太君) 其條文ト補償ニ對シテ救済ノ規定ハ先キニ書イテアリマス

○政府委員(堀田貢君) 今ノ御尋ネニ御答イタシマスガ、漁業權者ニハ限リマセヌガ、兎ニ角此埋立ノ許可ヲ受クベキ時ニ、其水面ニ權利ヲ有スル者ガアリマス場合ニ、相談ガ纏ラヌ場合地方長官ガ裁定スル規定ニナッテ居リマス、其裁定ニ不服ガアル場合ニハ尙ホ四十四條及ビ四十五條ニ救済ノ規定ヲ設ケテアリマス、尙ホ四十六條モ救済ニ關スル規定デアリマス

○阪本鈺之助君 第十二條ノ「免許料ヲ徵收スルコトヲ得」ト云フコトデアリマスガ、免許料ハ入學試驗デモスル時ノ免許手数料ト云フヤウニモ聞エマスガ、サウデナクシテ公有水面ヲ一個ノ所有ニ歸スルノデアアルカラ、此意味ニ於テ地價ト云フモノノ意味ヲ含ンデ居ルト見ルノデアリマスガ、免許料ト云フ言葉ハ少シ狭ク感セラレルノデアリマスカ……

○政府委員(堀田貢君) 御承知ノ通り此埋立事業ヲナスニ付キマシテ、種々色々ナ危險ガ伴フモノデアリマシテ、詰リ一面カラ云ヘバ冒險的ノ仕事デモアリマスノデ、土地ノ代價ト見ルベキモノ全部ヲ免許料トシテ取ルデアラウト考ヘマスガ、併シ入學試験ノ手数料ト云フ意味デナク、矢張り土地ノ代價モ加味サレタ一ツノ料金ヲ取ルト云フヤウニ、御解シヲ願ヒタイト思ヒマス

○阪本鈺之助君 少シ質問ノ範圍ヲ脱スルカモ知レマセヌガ、果シテ然ラバ免許料トカ手数料ト云フ意味ニ解セラレル場合ガ多イノデアリマスガ、私ノ希望スル所ハ僅カナツンナ手数料トカ鑑札料ト云フノデハナイ、相當地價ニ當ルモノト云フノデスケレドモ、地價ヲ含ンダ相當ナ免許料ヲ取ル場合モアリマスガ、免許料ト云フ言葉ニ付イテハ、立案ニ付イテハ何ゾ他ニ字ノ御考モナク最初カラ免許ト云フ御考デアリマシタカ

○政府委員(堀田貢君) 此言葉ハ別ニ問題ニナラナカッタノデアリマスガ、要スルニ矢張り土地ノ代價ヲ加味シタル一ツノ特許ノヤウナ風ニ考ヘテ、斯ウ云フ言葉ヲ設ケテ此規定ヲ置イタノデアリマスカ

○阪本鈺之助君 第二項ノ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フ、此コトニ付イテ、何レ勅令ガ出ルノデアリマセウガ、何カ御腹案ガ斯ウ云フ所ナラバ一坪ニ付テ其附近ガ地價ノ何分ノ一ヲ取ルトカ、或ハ斯ウ云フ場合ニハ全ク土地ニ對スル價ヲ取ルト云フコ

トハ、何か勅令が出マシテ地方長官が依テ以テ處分スルコトが出来ルヤウナ事柄ヲ御示メシニナル勅令が出ルノデアリマス

○政府委員(堀田貢君) 唯今ノ御尋ネノ通り、勅令ハ大體ノ標準ヲ示メシ取方モ合セマシテ規定スル考ヘデアリマス、其要點ハ御手許ニ差上ゲデアリマス、此免許料ヲ取リマスノハ、如何ナル場合ニモ取ルヤウナ考ハ持チマセヌノデ、此都會地ノ附近等デ埋立ヲシナイ内カラ既ニ殆ンド素地ニ付イテ相當ノ價格ヲ有スル場合ガアリマス、サウ云フ場合ニ埋立ノ爲ニハ僅カ數方圓ノ費用ヲ費スニ止マルニ拘ラズ、出來上ツタ土地ハ或ハ數百萬圓ノ價ヲ有スルヤウナ場合モ豫想サレルノデアリマス、サウ云フ場合ニ免許料ヲ取ルノガ至當デアラウ、免許料ヲ定メル所ノ標準ニ付キマシテハ、固ヨリ其土地ヲ埋立テル費用、ソレカラ出來上ツタ土地ノ價格等ヲ參照イタシマシテ、凡ソドレ位ト決メル、純益ノ何割トカ云フコトニ決メナケレバナラヌト考ヘテ居リマスガ、幾許ノ程度ニ其率ヲ決メベキカト云フコトハ、尙ホ慎重ニ調査スル必要ガアリマシテ、マダ確固タル意見ハ有ツテ居リマセヌ

○阪本鈺之助君 第二十五條ノ「不用ニ歸シタルモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ有償又ハ無償ニテ埋立ノ免許ヲ受ケタル者ニ之ヲ下付スルコトヲ得」トアリマスガ、國有地ト申シマスレバ種々ナ種類ガアリマセウガ、此埋立ヲスル或ハ干拓ヲスルト云フノハ、間接ニ公益事業ニ屬スル場合モアルダラウト思ヒマスガ、先ツ概シテ言ハバ其ハノ利益ヲ圖ル爲ニ、金儲ケニナルカラスルト見テ宜イト思フノデアリマス、ソレニ國有地ヲ下付スルナラバ大小共ニ價ヲ取ツテ宜カラウド思フノデアリマスガ、無償デ下付セラレルト云フコトハ、ドウ云フ御考デアリマスカ、又ドウ云フ場合ヲ指スノデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(堀田貢君) 大體ハ御意見ノ通り、官有地デアレバ假令濱地ニ致シマシテモ、全然無償ト云フコトハナク普通ノ場合ニハ價ヲ取ルノデア

リマスガ、併ナガラ埋立起業家ニ色ミナル施設ヲ命ズル場合ガアリマス、或ハ此公共用ノ揚場ヲ造ルトカ、或ハ道路ヲ設ケサセルトカ、種々ナル形式ニ於テ義務ヲ負擔セシムル場合ガアリマス、サウ云フ場合ニ僅カバカリノ濱地ガアルト云フトソレヲ起業家ニ與ヘルト云フコトガ、起業ヲ爲サシムル上ニ非常ニ必要ナル狀況ノ下ニアル場合ニ於テ與ヘルト云フコトニシヤウト思フノデアリマス

○阪本鈺之助君 果シテ然ラバ但書ニ何か斯ウ斯ウ云フ場合ニハ補償金ヲ徴收セザルト云フコトヲ得ト云フコトヲ御設ケニナツタ方ガ隱當デアリハシマスマイカ、唯今ノ原案ニ依ルト地方長官ノ考デ別ニ深い理由ガナクテモ、斯ウ云フヤウナコトモアツタカラヤツタト言ハレテモ仕方ガナイ、私ハドウモ其處ノ意味ガ分ラヌノデアリマス

○政府委員(堀田貢君) 唯今ノ場合ハ法文ニアリマスル通り、勅令ニ明定スル考デアリマス

○阪本鈺之助君 第三十二條ノ四號デアリマスガ、「埋立ニ關スル工事施行ノ方法公害ヲ生スル虞アルトキ」、ソレカラ六號「公害ヲ除去シ又ハ輕減スル爲ニ必要ナルトキ」、是等ノ場合ニ一旦許可サレタモノヲ取消サレル場合モアルシ、又相當ノ施設ヲナサシムルコトモアルノデアリマスガ、是ハ矢張り地方デハ何處其處ニ埋立ガ出來ルトカ、干拓ガ始マルト云フコトニナルト、其附近ノミナラズ隨分遠方マデモ水利上ニ關係ガアルトカ、或ハ船舶交通ニ關係ガアルトカ、曩ニ申シタ漁業者ハ勿論ノコトデ、ソレ等ノ方面カラ往々種々ナルコトヲ稱ヘテ公害ヲ申立テルト云フヤウナコトガ今日マデ往々アルノデアリマス、必ズヤ此法律ガ出マシテモ、此三十二條ノ四號六號ト云フヤウナ種々ナルコトヲ申立テ、取扱者ナリ起業家ヲ苦メルコトガアルダラウト思ヒマスガ、私考フルノニ此爲ニ起業ヲ妨ゲ折角宜イ仕事ヲ廢メルト云フコトモ起キルダラウト思フ、又地方長官ガ處分ヲサレル上ニ隨分困難デアラウト思ヒマスガ、此邊ハ何かサウ云フヤウナコトノ全ク故障ナク行クト云フ御豫想ガアルノデアリマスカ、之ニ付テ何か承ルコト

ガアリマスレバ承ツテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(堀田貢君) 今阪本サンノ御話ノヤウナ場合ハアルノデアリマス、今日ニ於テハ實ハ格別ノ公害除却ノ要ナキ場合ニ於テモ、地方ノ人ヲ煽動シテ或ハ陣情トナリ或ハ議會ニ於ケル質問ニマデモナルノデアリマス、サウ云フ點ハ餘程考ヘナケレバナラヌト思ヒマスルガ、又一面ニ於テ此埋立ノ爲ニ實際ヤリ方ガ公害ヲ生ズル虞アルトカ、或ハ公害ヲ除却シ輕減スル爲ニ必要アリト云フヤウナ場合ニ、尙ホソレヲ止メ得ナイヤウナ規定ニナツテハ困難デアリマスカラ、國家ノ立場カラ見マスレバ、埋立ニ關スル工事施行ノ方法公害ヲ生ズルノ虞アルトキハ、矢張り其埋立起業家ニ對シ、或ハ條件ヲ變更スルコトモ出來、又取消スコトモ出來、其他適當ナル處置ヲ講ズベキ途ヲ置ク方ガ必要ト認メマシテ、此規定ヲ置キマシタ、唯今ノヤウナ陳情或ハ苦情ガ出ルヤウナコトハ、行政上ノ考デ、濫ニ其苦情ニ動かサレヌヤウニ取扱フ者ガ、仕事ヲヤツテ行カナケレバナラヌコトデアリマノデ、ソレハ主トシテ取扱者ノ心得トシテ、今後チヨットシタ苦情ヲ言ハレテ直ニソレニ依ツテ動かサレルコトノナイヤウニ致ス考デアリマス

○阪本鈺之助君 唯今ノ御説明以上ハ承ルコトハ出來ヌカモ知レマセヌガ、是ハモウ御承知ノ通り唯今ノ御話ノ通りノコトデ、非常ニ是ハ地方官ナドノ苦シムコトト思ヒマス、何か斯ウ云フ殊ニ三十二條ノ注文ヲ設ケラレルト、反對スル方ニ餘程勢ヒ付ク氣味ガアリマシテ、之ヲ振舞シテヤツテ來ルト、地方長官ハ之ニ對スル何か斯ウ云フ理由ヲ以テ餘リ不道理ナコトヲ言ツテ來ル者ヲ刻ネ付ケル法律ノヤウナモノガ出來ルノデアリマスカ、全ク法律ニ依ラズ地方長官ノ元氣如何ニ存スルノデゴザイマスカ、法律トシテハ、何等之ニ對スルモノハ出來ナイノデアリマスカ

○政府委員(堀田貢君) 唯今ノ件ハ、要スルニ地方長官ノ認定ニ歸スルノデアリマス、地方長官ハ専門ノ技術者モ補助機關トシテ有ツテ居ルコトデアリマスカラ其専門技術者ノ意見ヲ求メテ、工事

施行ノ方法公害ノ虞ハナイト見タナラバ、無論是ハ妨ゲル人ノ手段ニ動カサレコトハナイノデアリマスガ、申上ゲルマデモナク三十二條ハ斯ウ云フコトヲ爲スコトガ出來ルト云フ、地方長官ニ權限ヲ付シタダケノコトデアリマシテ、地方長官ノ認定デサウ云フ必要ハナイト認メタナラバ、ツレヲ一撃ノ下ニ排斥スルコトガ出來ヤウト思フノデアリマス

○阪本鈺之助君 是レ以上ハ意見ニナリマスカラ止ムヲ得マセヌ、質問ハ打切ツテ置キマス、第五十條ヲ衆議院デ加ヘラレタヤウデアリマスガ、是ハドウ云フヤウナ場合ヲ指スノデアリマスガ、公有水面ノ一部ヲ區劃シ永久的設備ヲ築造スル場合ト云フハ、是ハ船渠デモ造ルトカ、サウ云フコトデスカ

○政府委員(小橋一太君) 是ハ御尋ノヤウナ場合モ這入リマスガ、元ト實ハ本案ヲ研究シマスル時ハ、養魚池若クハ船渠等ノ場合ニハ純然タル陸地ノ造成デハナイガ、此海面ヲ利用シ水面ヲ利用シテ、十分ナル設備ヲシタモノニハ保護ヲ與ヘタラドウカト云フコトモアリマシテ、最初本案ノ趣旨ハ陸地造成ト云フコトヲ主トシテ規定シマシタカラ、其邊ノコトハ除イテ置キマシタケレドモ、衆議院デ斯様ナ意見ガ出マシテ、此漁業權ノ保護即チ養魚池ヲ保護スルト云フコトカラ申シテモ、其設備ガ堅牢デアッテ所有權ヲ認メ得ル程度ノモノニハ之ヲ準用スルガ適當デアラウト云フコトデ賛成シタ次第デアリマス

○阪本鈺之助君 政府デハ御同意ニナッタノデアリマス

○政府委員(小橋一太君) 賛成致シマシタ

○委員長(伯爵清棲家教君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ

○阪本鈺之助君 委員長ノ御考ハ如何デゴザイマスガ、無論御質問ガアレバ御繼續ガナケレバ直ニ討論ニ御這入リニナリマスガ

○委員長(伯爵清棲家教君) 其考デ居リマス

○阪本鈺之助君 ドウカ相當ノ時機ニ御宣告ヲ願ヒマス……チヨット一ツ其前ニ御許シテ願ヒマスガ、段々御質問ヲシテ私ノ疑ノ存スル所ハ略、解ケマシタガ、元來此法案ハ起業ヲ保護スルト云フ御趣旨デアルカ知レマセヌガ、ドウモ其苦情ヲ言フ人ノ言ヒ得ル種ガ非常ニ法文中多イヤウニ感シマシテ、隨分其取扱上困難ヲ感ズル場合ガアリハセヌカト思フノデアリマスガ、其方ニ對シテモ之ヲ保護スルト云フ意味ニ是ガ出來テ居レバ大變仕合セデアリマスガ、ツレガアレバ御示シテ願ヒマス

○政府委員(堀田貢君) 實ハ衆議院ニ於キマシテハ、寧ロ是ハ漁業者ナドガ困リハセヌカト云フ意味デ、高木正年君ナドカラ其意味ノ意見ヲ含マレタ質問ハ非常ニ長ク受ケタノデスガ、當局ノ本法起草ヲナスニ當リマシテハ、兩方ヲ公平ニ扱ツテ、詰リ兩方共ニ無理ヲ言ハセヌト云フ程度ニ立法シヤウト云フ考デ本法ヲ起草シタノデアリマス、大体只今ノ御尋ノ點ニ付キマシテ、當局ガドウ云フ注意ヲ拂ツタカト云フコトヲ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此從來ハ埋立ノ區域ニ他人ノ權利ガ存在スル場合ニ於キマシテハ、其權利者ノ同意ガナケレバ埋立ヲナスコトハ出來ナカッタノデアリマス、漁業權者ガアッテツレガ苦情ヲ言ヒマスレバ、或ハ其他ノ權利者モ同ジデアリマスガ、苦情ヲ言ヒマスレバ、其苦情ヲ治メル手段方法ガナカッタ、手段ガナカッタノデアリマス、地方長官ニ之ヲ裁定スル權能ヲ法律上付與サレテ居ナイ、唯地方長官タル職責カラシテ成ルベク紛擾ヲ纏メタイ、事業ノ成立ヲ助ケタイト云フ考デ事實上色ノ仲裁ナドナスニシマシテモ、其仲裁意見タルヤ何等法律上權威ヲ價シナカッタ、今度ハ斯ウ云フ場合ニハ詰リ或ル一定ノ條件サヘ備ハレバ、地方長官ハドンノ異議ガアッテモ許スコトガ出來、而シテ又一面ニ於テ今度ハ其權利ヲ有ッテ居ルモノモ擁護スル規定ヲ置イテ、歩ミ合ヒガ取レルヤウニ致シマシタ、ツレデアリマスガ、起業者ハ今ノ補償ノ金額等ニ付テモ地方長官ノ裁定スル所ニ依ッテ其金額ガ極マル、其金額ヲ供託スルコトニスレバ、

今度ハドシノ仕事ガ運ベルト云フコトニナッテ居リマス、ツレカラ又從來公有水面ノ干拓ト云フコトハ認メナカッタ私有水面ノ干拓ハアリマシタガ、公有水面ノ干拓ハ認メズ、干拓ニ付イテハ此公有水面ノ効用ヲ先ツ以テ廢スル、廢スル爲ニ締切工事ノ許可ヲ受ケテ、其工事ノ成工後ニ其區域ハ豫約開墾ノ方法ニ依ッテ、代金ヲ納メテ土地ヲ拂下ゲルト云フ取扱ヲナシテ居ッタノデアリマスガ、今回公有水面ノ干拓ヲ、埋立ト同様此法律ニ依ッテサウ云フ煩ハシイ手數ヲ省イテ、許可ヲ受ケ得ルコトニナッタノデアリマス、ツレカラ從來此埋立ノ竣工ノ認可前ニアッテ埋立地ヲ利用スルノニハ、一々許可ヲ必要ト致シマシタガ、本法ハサウ云フ許可ヲ要セズシテ使用シ得ル範圍ヲ定メマシテ、ツレ等ノ手數モ企業者ニハ省ケテ來ルコトニナルノデアリマス、ツレカラ又從來此免許ヲ受ケズシテ埋立ヲ爲シタル場合ニハ、是ハ埋立地ヲドンノ沒收シテ來タノデアリマスガ、本法ニ於テ公益上其他各方面カラ是デ支障ノナイ場所ヲ埋立テタト云フ場合ニ於テ、場合ニ依ッテ追認ヲ爲シ得ルコトニ致シマシタ、無免許埋立ヲ爲シタ時分ニハ其時分ノ制裁ヲ置イタノデアリマス、埋立工事ノ爲ニ必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得サヘスレバ、他人ノ土地ニ立入り又ハ材料ノ置場トシテ使用スルコトガ出來ルコトニナリマシタ、是等ハ從來ヨリハ仕事ヲ爲ス上ニ非常ニ便利ニナッタ點デアリマス、又港灣、河川其他公共ノ利害ニ重大ノ關係アル箇所ノ埋立ニ付キマシテハ、埋立地ノ使用方法等ニ關シ特別ノ義務ヲ課スル必要ガアリマスケレドモ、從來ハ何等ノ規定ガアリマセヌガ爲ニ、埋立地竣功後ニ於テ其義務ノ履行ヲ確實ニスル方法ハアリマセナカッタカラ、從ツテサウ云フ場所ノ埋立ヲ免許スルニ付テ餘程躊躇シタノデアリマス、何等其義務ノ履行ヲ確保スル手段方法ハアリマセヌカラ、一旦埋立ヲ許可シテ、サウシテ之ヲ第三者ニ許可シテ……竣功シテ所有權ヲ得テ更ニ第三者ニ賣却シタル場合ニハ、第三者ハ勝手ニ施設スルコトガ出來ヌ、所有權ノ權能トシテサウ云フコトガアッテハナ

リマセヌカラ、從來大事ナ場處ニアツテハ或ル特定ノ目的以外ノ埋立ハ、許シタクナイ場合ナラバツコヲ許サヌト云フコトニ傾キ勝デアリマスルガ、斯ウ云フ風ニ今度義務履行ノ方法ヲ確保サル、コトニナリマシタカラ、若シ船渠設備ヲ爲スタメナラバ……外ノ爲メナラバイカヌガ、船渠設備ヲ爲スタメナラバ許シテ宜シイト云フ場合ニハ、何等願慮スル所ナク其船渠設備ノ爲ニスルナラバ、許サル、コトニナリマシタカラデアリマス、大層仕事ヲヤル上ニ於テ非常ニ都合好クナツタト思フノデアリマス、尙ホ序デアリマスルカラ、此利害關係人ノ保護ニ付テ一言申上グテ置キタイト思フノデアリマス、埋立區域ニ漁業權、入漁權等ノ存在スル場合ニハ埋立權ヲ得タル者ヲシテ、埋立ニ依リ權利者ノ蒙ルベキ損害ヲ防止スル施設ヲ爲スカ、又ハ其ノ不能ナルトキ若クハ不相當ナル失費ヲ要スルトキハ、其損害ノ補償ヲ爲スベキ義務ヲ負ハシメテ居ルノデアリマス、ツレカラ又權利者ノ同意ヲ得タル場合ノ外ハ、損害防止ノ施設又ハ損害賠償ヲ爲シタル後デナケレバ、權利者ニ損害ノ及ブベキ工事ニ着手スルコトガ出來ナイト云フコトニシテアル、併シ一方ニ於テ又仕事ヲヤル上ニ損害防止ノ施設ヲ爲シ、或ハ損害ノ補償ヲ爲セバ企業者ハ仕事ニ着手シ得ルコトニナル、此兩者ノ間ニ立ッテ共ニ適當ナルコトニ致シタ次第デアリマス、其外埋立區域内ニ存スル權利ガ、先取特權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニモ、其擔保物權者ヲ保護スル規定ヲ置キマシタ、ツレカラ公有水面ノ利用ニ關シテ特別ノ施設ノ存スル場合ニハ、縱令埋立區域内ニ權利ヲ有シナクとも、地方長官ハ其施設ニ代ルベキ施設、又ハ其効用ヲ保全スル爲ニ必要ナル施設ヲ爲サシメルト云フヤウナ風ニ致シタノデアリマス、ツレカラ又利害關係者ノ保護ノ上ニ遺憾ナカラシムル爲ニ、地方長官ヲシテ埋立免許ノ日ト其ノ事件ノ要領ヲ告示セシメ、利害關係人ニ埋立ノ免許ヲ爲シタルコトヲ周知セシムルコトヲ致シマシタ、ツレカラ埋立權ヲ得タル者ガ權利者又ハ利害關係者ニ對シ、損害ノ補償又ハ損害ノ防止ノ施

設ニ付有スル義務ハ、埋立權ヲ第三者ニ讓渡シタル時ハ讓渡人及讓受人ノ連帶責任ト爲シタノデアリマス、ツレカラ違法又ハ不當ナル埋立ノ免許、其ノ他ノ處分ニ依ッテ權利ヲ毀損シ又ハ利益ヲ侵害セラレタリトシテ不服アル者ニハ、損害賠償ノ裁定ニ關シテ通常裁判所ニ出訴シ、其他ノ場合ニハ主務大臣ニ訴願シ、若クハ行政裁判所ニ出訴スル途ヲ開イテ、此公有水面ニ權利ヲ有シテ居ル者ノ保護ニ付テ十分注意ヲ拂ッテアリマス、大體兩方面カラ見テ當局ハ注意ヲ拂ヒマシタ點ヲ申シマシタ次第デアリマス

○阪本鈺之助君 御深切ナ御示シニナリマシテ拜承シマシタガ、唯今ノ御深切ニ付テモウ一ツ伺ッテ見タイノハ、其免許シタ月日地域等ヲ告示サレルト云フコトデアリマスル、其御言葉ニ付テ疑ヲ生ジマシタガ、第四條ノ二號ノ即チ利益ノ程度ガ損害ノ程度ヲ超越シタ場合ニハ苦情ガアツテモ許サル、斯ウ云フコトデゴザイマス、サウスルト是ガ即チ損害ノ程度ヲ超越スルト云フコトハ其被害者ト認ムベキ人ガ何カ向フノ意見ヲ徴シ、第五條ノ權利者ノ意見ヲ徴シ、企業者ノ意見ノ元ト申立ッテ居ル……丁度原被兩造ノヤウナ工合ニ地方長官ガ判斷スルノデアアルカ、或ハ第二號ノ場合ハ全ク權利者ノ方ハ知ラナイ中ニ、地方長官ノ選擇スル所ガ損害ノ程度ヨリハ利益ノ程ガ多イト云フコトガ、全ク權利者ノ（聽取シ難シ）ノ地方長官ガ判斷スルノデアアルカ、是ハドウデアアルカ

○政府委員（堀田貢君） 實際問題トナリマスレバ、此第四條デ地方長官ガ埋立ヲナス場合ハ、ツマリ此二號ノ條件ガ備ハッテ居ル爲ニ、地方長官ガ其公有水面ニ權利ヲ有シテ居ル場合ハ、埋立ノ免許ヲスルト云フ規定ハ、元來埋立ハ原則トシテ權利者ノ同意ヲ得ルト云フコトヲ原則トシテ居リマスノデ、若シ其同意ガナケレバ此規定ヲ働カスコトガ出來得ルト云フノデアリマシテ、企業者ガ簡單ニ其權利者ノ同意ヲ受ケ得ル場合ハ無論得テヤツテ居リマスノデ、實際問題トシテハ此企業者ノ意思モ權利者ノ意思モ、雙方地方長官ガ知ッテサウシ

テツレ等ヲ參酌シテ是等ノ比較ヲスルコトニナラウト思ヒマスガ、要スルニ此規定ヲ働カスニ付キマシテハ一ニ地方長官ノ考デアリマスノデ、此埋立ニ依ッテ生ズル利益ハ非常ニ大キイ、然ルニツコカラノ漁獲高ノ如キモノハ殆ド論ズルニ足ラヌト云フ場合ニハ、此規定ヲ働カシテ許可ガ出來ルト云フコトデアアル、併シ權利ヲ持ッテ居ル者ガ投資ヲシテ苦情ヲ言ヘバ、利益ノ方ガ或ハ多クナルカ知ラヌト云フ場合ニハ、此規定ハ働カサヌト云フノデアリマシテ、其損害ノ程度ニ著シクト言ッテ居ルノデ……

○阪本鈺之助君 モウ少シ具體的ニ伺ッテ見タララ明瞭ニナルカト思ヒマスガ、第三條ニ依リマス、此出願ガアルト地元町村ノ意見ヲ徴スルト云フコトデアリマスガ、町村會ガ許否共意見ヲ言フコトガ出來ル、此町村會ノ是非ト云フコトハ豫ジメ第三條ニ依ッテ分ルガ、町村會デナイ直接ノ利害關係者、漁業家トカガ、例ヘバ私ガ埋立テタイト云フ出願ヲスルノニ、非常ニ町村長ノ契約書ノ副署デモ取ッテ出ス、ツレヲ地方長官ハ之ヲ受付ケテ町村長ノ意見ヲ第三條ニ依ッテ徴スル、デアリマスカ、其他權利者ニハ御尋ネニナル機會ハナイノデアリマスカ、或ハ此第四條ノ一號ニ依リマス、權利者ノ連署ヲ得テ出ス、斯ウ云フ形式ニナルノデアリマスカ、連署アル場合ニ同意シテ吳レバ論ハナイノデアリマスガ、若シ同意ガ出來ナイ場合ニ意見書デモ附ケテ來タト云フ場合ニハ、即チ第二號ニ相當スルノデアアルカ、又ハ第二號等ニハ間接ニ知ルノデアツテ、町村長ガ副署スルト云フ場合ト違ッテ、權利者ト云フ者ハ告示ヲ見テ我レヨリ先キニ埋立テヲスルト云フコトヲ知ルト云フ結果ニナルノデアリマスカ、其手續ヲ具體的ニ伺ッタラ……

○政府委員（堀田貢君） 此第四條ノ規定ハ先刻モ申上ゲマシタ通り、權利者ガアル時ハ大體許可ハ與ヘルコトハ出來ヌト云フコトガ原則ニナツテ居ルノデアリマス、併シ左ノ如キ場合ニ於テハ免許ヲ爲スコトガ出來ルト云フノデアリマシテ、從ッテ茲ニ漁業權者ニ漁業權ノアルナイハ地方長官ノ當然

漁夫ニ免許シテ居ルノデアリマスカラ、地方長官
ガ漁業權ヲ免許シテ立派ニ不動產ト同ジヤウナ形
式ニ於テ登録サレテ居ルノデアリマスカラ、權利
者ノソコニアリナイト云フコトハ固ヨリ漁業權ノ
如キハ承知シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ
其權利者ガアルノニ一方カラ出願シテ來ル、是ハ
權利者カラ同意ヲ得テ居ルカ居ラヌカト云フコ
トハ直グ分ルコトデ、ソレデ同意ヲ得マシタト云フ
ナラバ、此四條ノ一號デ處分ガ出來ル、ソレガ權利
者ノ同意ヲ得テ居ラヌ、實際ノ漁獲物ハ僅カシカ
ナイノニ其補償トシテ數萬圓ヲ要求シテ、到底駄
目ダカラ、ドウカ是ヲ許シテ貰ヒタイ、後デ正當ナ
ル補償ハ與ヘマス云フ場合ニハ、其場合ニハ二
號ニ依ッテ其著シク利益ガ超過スル時ニハ免許ガ
出來ル、然ラバ何故告示スルカト云フ御尋ネガ起
ルカ知レマセヌガ、ソレハ所謂第十條ナドノ規定
ハサウ云フ場合ヲ見テ規定シテ居ルノデアリマス
ガ、「公有水面ノ利用ニ關シテ爲シタル施設ガ埋立
ノ爲其効用ヲ妨ケラルトキハ地方長官何々」或
ハ損害ノ全部或ハ一部ヲ補償セシメルコトニ規定
シテゴザイマス、斯ウ云フ場合ガアリマスカラ、矢
張り告示シテ利害關係者ニ知ラセルト云フ必要ガ
生ジテ來ルノデアリマス

○阪本鈺之助君 無論ソレハ告示ニナラナケレバ
明カニナラヌト私ハ信ズルノデアリマス、御尋ネ
シタ一號ノ場合ハ何カ第二號ノ場合ニハ色々ヤッテ
見タケレドモ折合ハヌカラ、ドウカ御許シテ願ヒ
タイト言ッテ企業者ガヤッテ來タ時、地方長官ハ權
利者ニ向ッテ調停シタルトカ、調停ハシテヤルデ
セウガ、利益ノ上デ言フト、何等交渉ヲ爲サズシ
テ、地方長官ノ頭テ是ハドウシテモ損害ヨリ利益
ノ方ガ多イト云フコトヲ相當ノ期間ニ調査シテ分
レバ、權利者ニ渡リ付ケズニ許シテ、サウシテ告
示ヲサレテ其被損害者ガ文句ヲ言ッテ出ルノデ、初
メテ問題ガ起ルト云フノデスカ、サウ云フコトハ
ナイノデスカ

○政府委員(堀田貢君) 唯今ノヤウニ出願書ガ出
テ來テ、然モ權利者ガアルニ拘ラズ權利者ノ同意

ナクシテ出テ來タト云フ場合ニハ、無論地方長官
ハ是ヲ扱フニ權利者ニ交渉シタカドウカト云フコ
トハ當然ノコトデ、ソレデ交渉シテ、交渉ガ成立タ
スト云フ場合ニ於テ、然ラバドウスルカト云フナ
ラバ、地方長官ガ權利者ヲ喚ンデ、其見ル所ニ依ッ
テ纏メテヤルト云フノモ一ツデアリマスシ、又喚
ンデ話シテモ纏ラヌト云フ場合ニハ實際利益ノ程
度ガ損害ヲ著シク超過シテ居ルト云フ場合ニハ、
地方長官ノ考デ之ヲ許スコトガ出來ルノデアリマ
ス、併シサウ云フ場合デアリマス、後ニキッ何
カ起ルト云フヤウナコトガアリマスカラ、餘程御
考慮シタ上デナケレバ此規定ヲ適用スルコトハナ
カラウト思ヒマス、尙ホ御參考ノ爲ニ申上ゲテ置
キマスガ、大分斯ウ云フ所ハ耕地整理法ニ倣ッテ居
リマス

○委員長(伯爵清棲家教君) 御質問ガナケレバ討
論ニ移ラウト思ヒマス

○男爵安藤直雄君 十四條ノ規定ハ餘リニ埋立ヲ
スルニ便利デアッテ土地ヲ持ッテ居ル者ノ爲ニ不利
益ノヤウニ考ヘマスガ、法文ノ上デハ……政府ノ
御意見ハドウ云フ御解釋デアリマスカ

○政府委員(小橋一太君) 是ハ御尤モナ御意見デ
アリマシテ、衆議院ノ方デハ埋立事業ヲ滑ラカニ
遂行スル點カラモウ少シ、起業者ノ便利ニシタイ
ト云フ希望ガアリマシタガ、是ハ御話ノヤウニ所
有權ハ十分尊重シナケレバナラヌ譯デアリマスカ
ラ、今御協賛ヲ願ッテ居ル案ノ程度デハ一時材料置
場、ソレカラ測量、設計等ノ場合ニ他人ノ土地ニ立
入ルト云フ位ノコトハ、地方長官ガ相當ニ其周圍
ノ事情ヲ見テ許サウニ致シマシタナラバ、所有
者ニ迷惑ヲ見ナイデアラウシ、又埋立起業者モ利
益ヲ得ルダラウ、斯ウ云フ位ノ程度ニ止メテ置ク
コトニシタナラバ、雙方ニ於テ宜シカラウト云フ
ノデ一時材料置場ヘ立入ルト云フ程度ニ致シタノ
デアリマス

○政府委員(堀田貢君) 尙ホ唯今ノ次官ノ答辯ヲ
少シ補足シテ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、衆議
院ニ於キマシテハ唯今ノ御尋ネト全ク反對ノ意見

ヲ含シテ質問ガアリマシタ、アリマシタガ、政府ハ
ドウシテモ同意出來ヌト云フコトデ立消ニナリマ
シタ、之ヲ置キマスノハ實際是位ノ程度ハ認メテ
ヤラヌト云フト、工事ノ施行上不可能ナ場合ガア
リマス、デアリマスカラ此程度ハ認メテ宜カラウ、
而モ地方長官ノ許可ヲ受クト云フ條件ヲ付ケテア
リマスノデ地方長官ガマサカ人ノ庭先ヲドンノ
通ルト云フヤウナコトヲ許ス氣遣ヒモアリマセヌ
ノデ、唯畔道ノヤウナ所ヲ他人ノ所有地ヲ通ル場
合ニ餘リ苦情ヲ言ハサヌデ通シタルヤウニシタ
ラ宜カラウト云フ位ノ考デ、此規定ヲ置キマシタノ
デアリマス

○男爵安藤直雄君 サウ致シマス所有者ノ同意
ノ必要ハナイト云フ御考ナンデアリマスカ

○政府委員(堀田貢君) 所有者ノ同意ヲ得マシレ
バ、此規定ノ適用ハナイノデアリマシテ、所有者ガ
理由ナク、詰リ其處ヲ通ラレテハ困ル、多クハ何レ
自分ノ地先ヲ埋立テラレル場合デアアルカラ、感情上
面白カラズ思ッテ居ルヤウナ場合デアアルカラ、我輩
ノ土地ヲ通ッテハイカヌ、而モ田カ畑ノ畔ヲ通レバ
宜シイト云フ位ノ場合デモ、或ハ拒絕スルカモ知レ
マセヌ、サウ云フ場合ニハ此十四條デ地方長官ノ
許可ヲ受ケレバ其處ヲ通行スル、或ハ一時物ヲ置
クト云フ位ノコトハ宜カラウト云フ考デアリマス
○委員長(伯爵清棲家教君) 御質問ガゴザイマセ
ヌナラバ討論ニ移ルヤウニ致シマス

○阪本鈺之助君 私ハ別ニ修正ノ意見ヲ持チマセ
ヌ、又本案ニ反對ノ意見ヲ持チマセヌ、是ハ何時モ
委員會ト云フモノハ一讀會モ二讀會モナイノデア
リマスカ

○委員長(伯爵清棲家教君) アリマセヌ

○男爵南岩倉具威君 私モ本案ニ賛成ヲ致シマス

○委員長(伯爵清棲家教君) 唯今阪本君ヨリ本案
ニ對シテ修正ノ意見モナシ、反對ノ意思モナイ、
全部御賛成ノ趣デ、尙ホ之ニ南岩倉男爵ノ御賛
成ガアリマス、別段御意見ガゴザイマセヌケレバ

本案ハ全部賛成ト云フコトニシテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵清棲家敦君) 然ラバ全會一致ヲ以テ本案ハ可決ト云フコトニ致シマス、是ニテ散會イタレマス

午前十一時二十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵清棲 家敦君
副委員長 江木 千之君
委員

子爵藤谷 爲寛君
男爵南岩倉 具威君
男爵安藤 直雄君
男爵今園 國貞君
阪本 鈺之助君

政府委員

內務次官 小橋 一太君
內務省土木局長 堀田 貢君